ＸＩ.臨床指数（クリニカルインディケーター）

1.救急センターで対応したCPA症例

年齢別CPA症例数

0～9		10～19		20～29		30～39		40～49		50～59		60～69		70～79		80～89		90～99		100～109		計	
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	9	1	7	4	10	6	25	20	7	15	0	1	61	48
0		0		0		1		3		10		11		16		45		22		1		109	

月別CPA症例数

4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		計	
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
7	3	5	2	1	5	2	3	5	4	10	5	4	4	3	4	7	3	9	8	5	3	3	4	61	48
10		7		6		5		9		15		8		7		10		17		8		7		109	

心肺蘇生により自己心拍再開した例　24例（22.0%）

軽快退院	4例（1.7%）	平均在院日数	27日（7日～41日）
転院	1例（0.04%）	在院日数	19日
死亡	19例（79.2%）	平均生存期間	10.4日（1日～69日）

CPA症例のICD大分類

01)感染症および寄生虫症	8
02)新生物	6
04)内分泌・栄養および代謝疾患	2
09)循環器系の疾患	59
10)呼吸器系の疾患	3
14)腎尿路生殖系の疾患	4
18)症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2
19)損傷、中毒およびその他の外因の影響	1
20)傷病および死亡の外因	24
	109

CPA症例の疾患別分類

感染症および寄生虫症	8	呼吸器系の疾患	3
肺炎	7	ナルコーシス	3
敗血症	1	腎尿路生殖系の疾患	4
新生物	6	急性腎不全	4
肺癌	2	症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2
食道癌	1		
肝細胞癌	1	老衰	2
甲状腺癌	1	損傷、中毒およびその他の外因の影響	1
尿管癌	1	外傷性ショック	1
内分泌・栄養および代謝疾患	2	傷病および死亡の外因	24
低血糖	2	窒息	16
循環器系の疾患	59	溺水	1
心不全	7	縊頸	2
急性冠症候群	21	一酸化炭素中毒(自殺)	1
解離性大動脈瘤	11	感電(自殺)	1
致死性不整脈	5	他殺	1
胸部大動脈瘤破裂	3	不明	2
腹部大動脈瘤破裂	1		109
肺塞栓症	3		
急性硬膜下出血	2		
くも膜下出血	6		

2. 消化器内科

【内視鏡件数】

2018年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
上部内視鏡	331	389	383	402	432	347	485	418	347	335	303	336	4,508
下部内視鏡	125	126	134	144	159	125	144	148	143	135	131	154	1,668
大腸良性EMR	31	31	30	38	38	36	44	41	37	37	36	30	429
大腸癌EMR	2	2	2	1	6	5	3	1	3	2	0	1	28
ERCP	8	15	8	22	24	11	18	20	14	16	16	24	196
ESD	1	3	3	4	3	5	6	2	2	5	4	3	41
EIS	1	2	0	1	0	1	0	0	1	1	0	2	9
その他	1	2	2	5	2	4	3	8	3	3	4	3	40

≪肝胞癌に対する治療≫
RFA　:　　1 例
PEIT　:　　0 例
TACE　:　　18 例　　35 セッション
（RFA：経皮的ラジオ波焼灼療法　PEIT：経皮的エタノール注入療法　TACE：肝動脈化学塞栓療法）

3. 血液内科

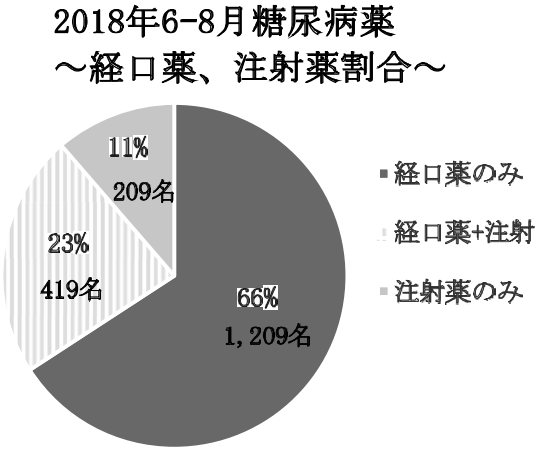
新規患者数

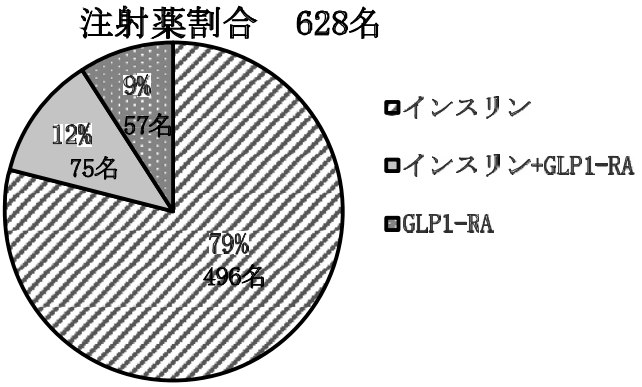
特発性血小板減少性紫斑病	15
慢性骨髄性白血病	1
急性白血病	10
悪性リンパ腫	33
慢性リンパ性白血病	4
多発性骨髄腫	10
骨髄異形成症候群	18
後天性免疫不全症候群	3
再生不良性貧血	4
造血幹細胞移植	2

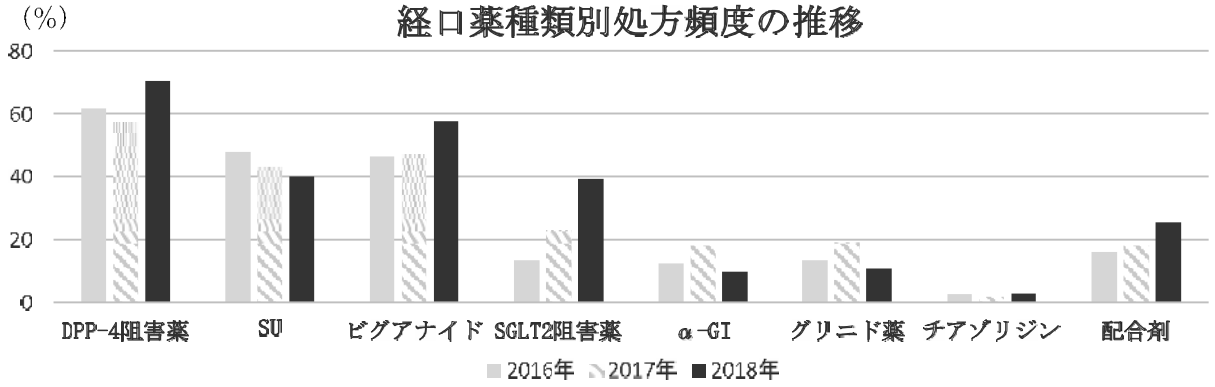
4.糖尿病・代謝内科

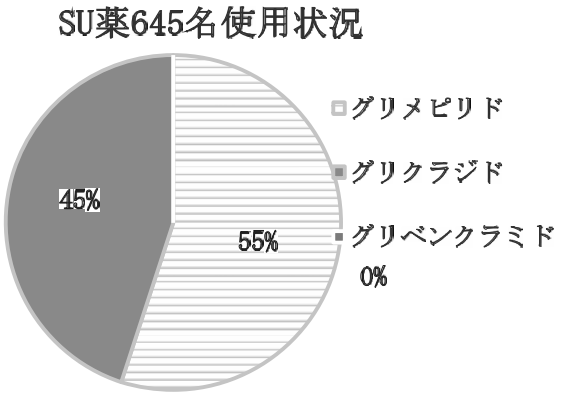
2018年6-8月　DM薬剤調べ

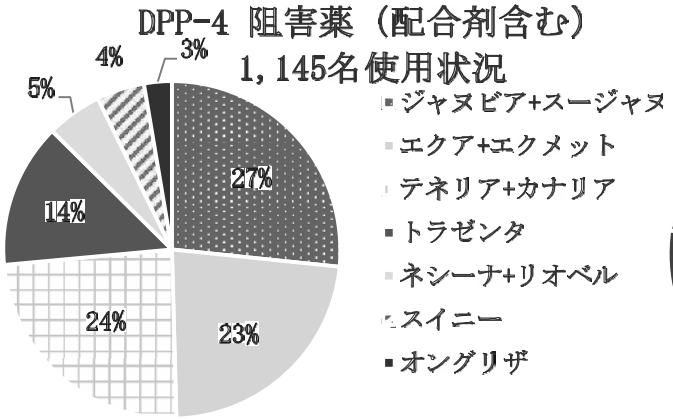
患者実数1,837名

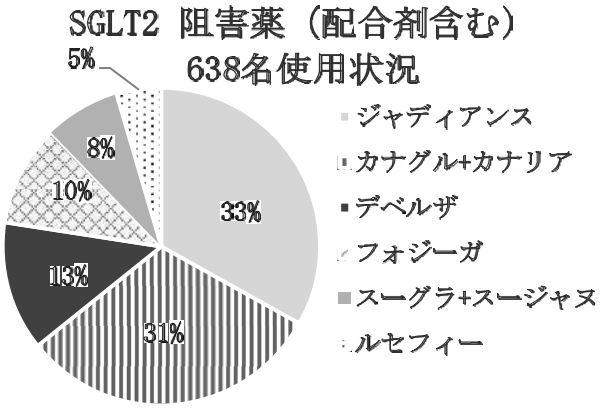




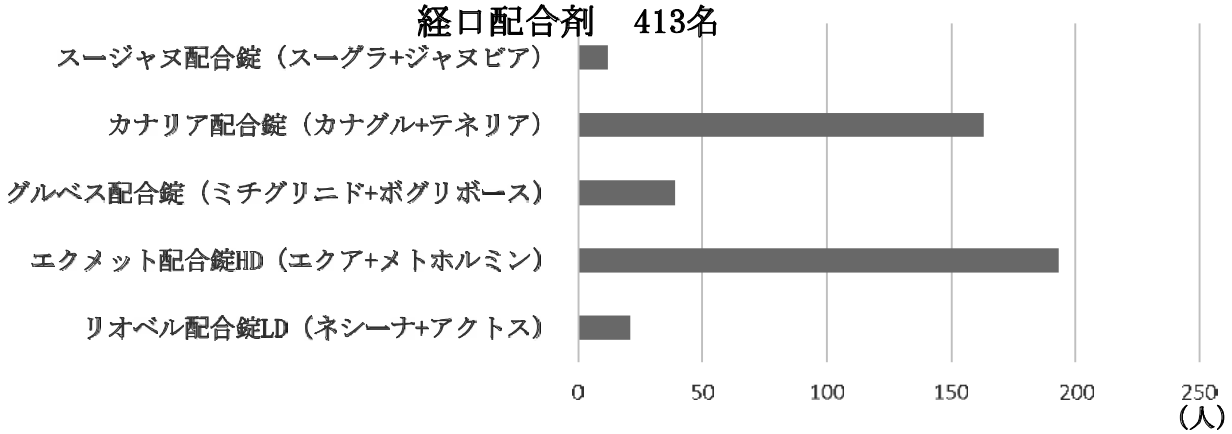




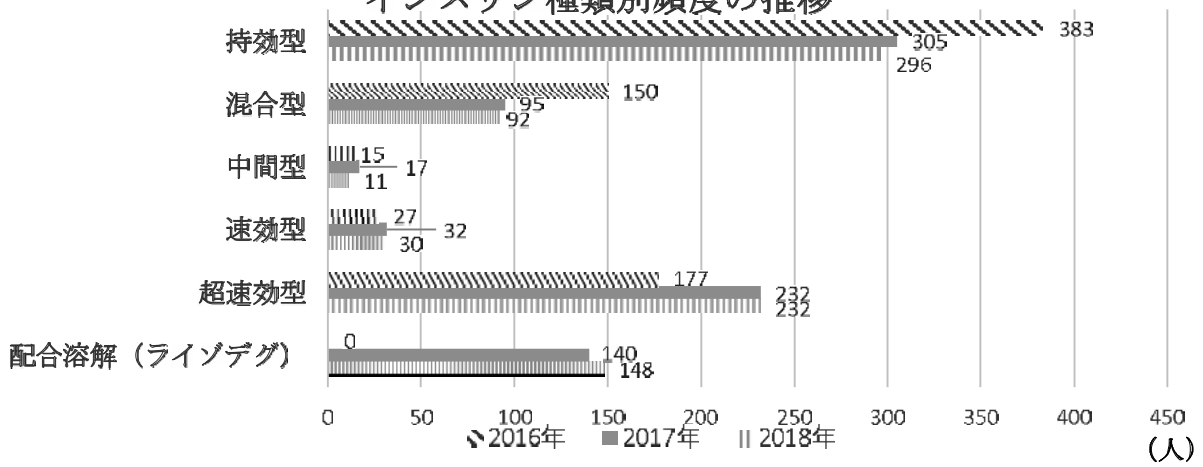




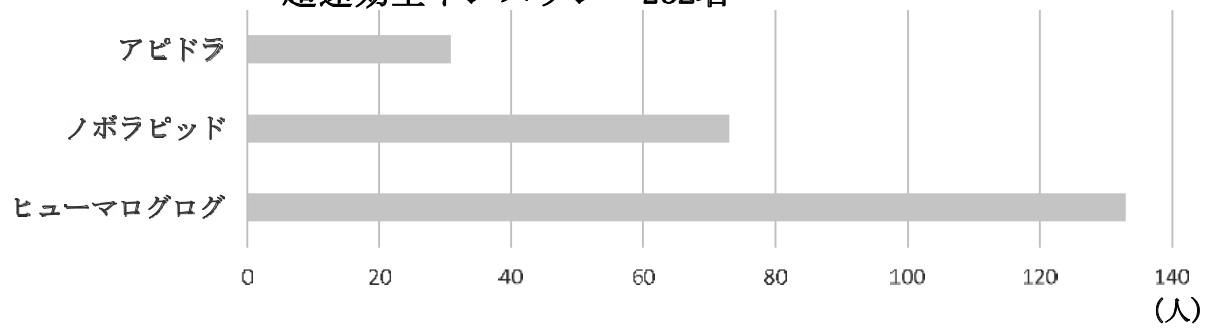
経口配合剤　413名



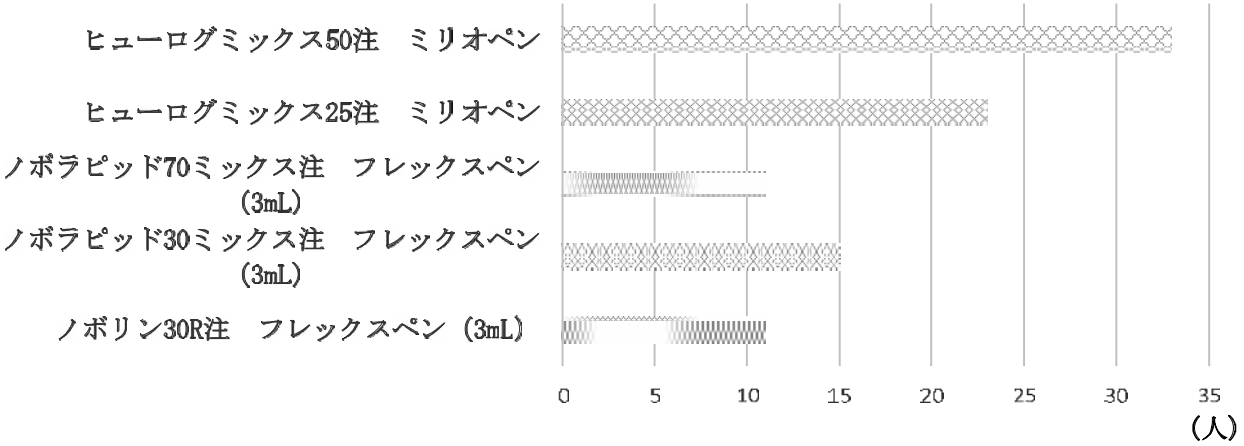
インスリン種類別頻度の推移

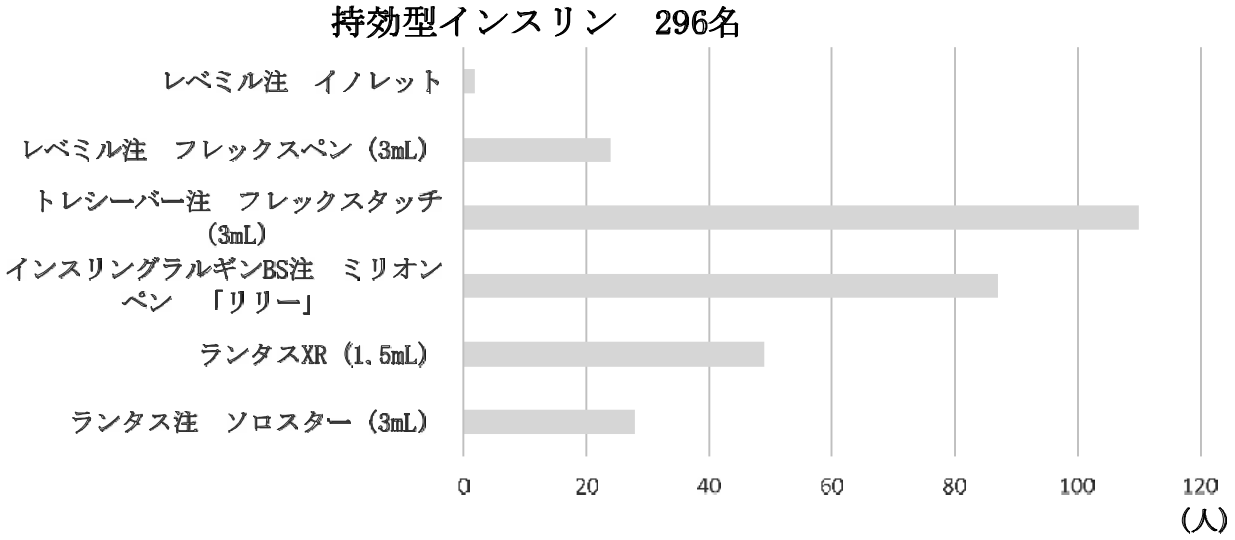


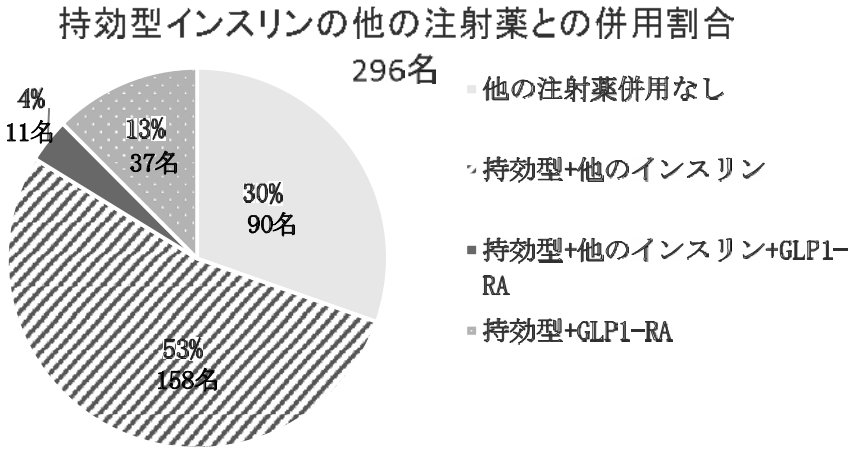
超速効型インスリン　232名

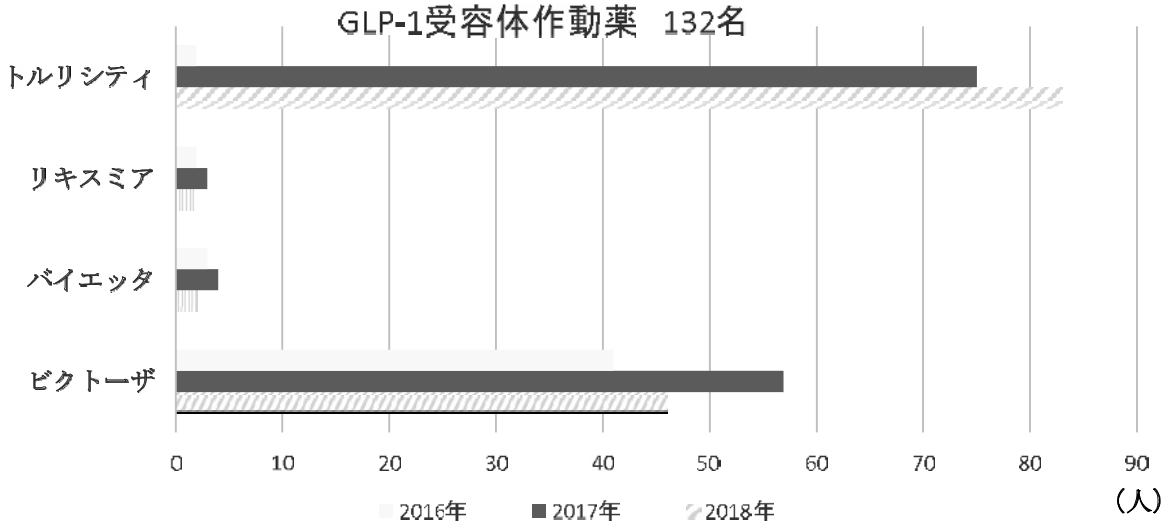


混合型インスリン　92名







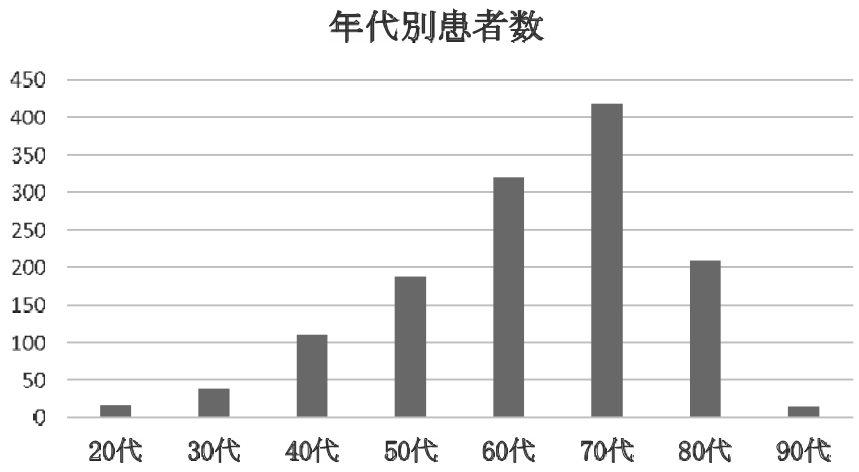


2018年10月～12月糖尿病外来統計

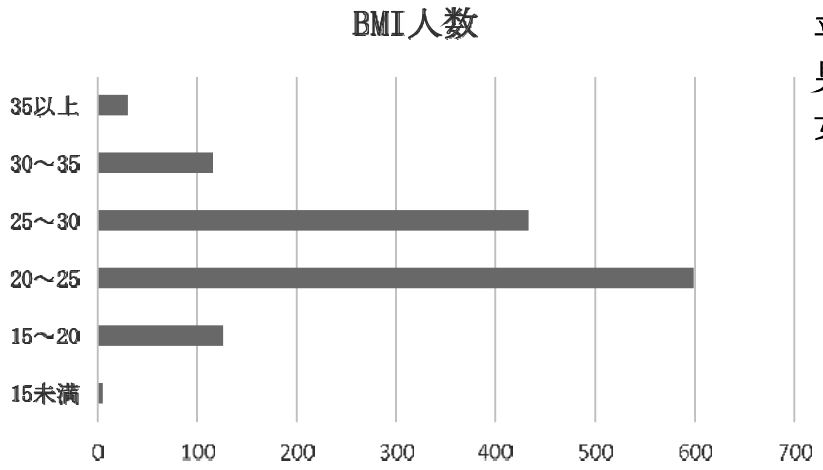
2018年10月～12月糖尿病外来患者1,314名

男性：784名	1型糖尿病	93名
女性：530名	2型糖尿病	1,209名
	その他	12名

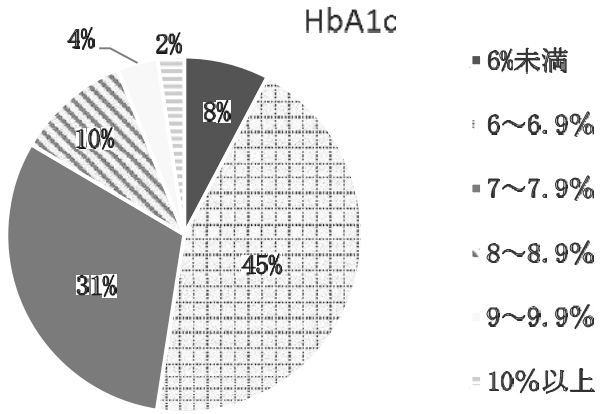
・除外
救急受診、2018年7月以降の初診患者（3ヶ月以内の患者）、他科入院患者



平均：66.62±13.64歳
男性：66.68±12.92歳
女性：66.54±13.09歳



平均BMI：24.9±4.39kg/㎡
男性：24.78±3.85kg/㎡
女性：25.07±4.98kg/㎡



平均HbA1c：7.1±1.12%
7%未：全体の53%

高血圧症	938名（71%）	
脂質異常症	237名（18%）	
腎障害あり	少なくとも675名（52%）	

随時コレステロール	1,250名	177.7 ± 60.4	mg/dl
TG	1,250名	158.1 ± 116.5	mg/dl
HDL-C	1,241名	54.6 ± 34.65	mg/dl
LDL-C	1,230名	92.3 ± 40.3	mg/dl

	実人数
糖尿病看護	171名
フットケア	21名
透析予防指導	123名
自己注射指導料	523名

5. 循環器科

経皮的冠動脈インターベンション（PCI）	245 例
血管内治療（EVT）	93 例
腎動脈インターベンション（PTRA）	3 例
上肢血管インターベンション	2 例
経皮的心筋中隔アブレーション（PTSMA）	1 例
バルーン大動脈形成術（BAV）	1 例
永久ペースメーカー	
新規植込み	24 例
交換	11 例
カテーテルアブレーション	173 例
下大静脈フィルター留置	5 例
心筋生検	8 例
心嚢ドレナージ	6 例
超音波ガイドトロンビン注入	2 例

6. 呼吸器内科（呼吸器内科+呼吸器外科）

肺癌　112 例

小細胞癌	9 例
腺癌	64 例
扁平上皮癌	32 例
大細胞癌	0 例
LCNEC	1 例
非小細胞癌	1 例
腺扁平上皮癌	1 例
組織型不明	4 例

悪性胸膜中皮腫	0 例
縦隔腫瘍	2 例
縦隔癌	0 例
胸腺癌	1 例
胸腺腫	3 例
転移性肺腫瘍	4 例
良性腫瘍	2 例

化学療法	39 例
外来化学療法	31 例（導入率 79.5 %）
EGFR-TKI	9 例
放射線治療	5 例

7.外科（2018.1.1～2018.12.31）

入院患者数　792　男　456　女　336

入院手術症例数　594

合併症	80	（66 症例）	感染症	23
			縫合不全	2
			呼吸器系	7
			循環器系	4
			出血	6
			脳血管障害	3
			腎	2
			その他	33

転帰	治癒	282	転科	33	悪化	0	軽快	421
	転院	9	不変	34	死亡	13		

「死亡」の内訳	良性	3	結腸憩室穿孔（術後）、イレウス（2）
	悪性	10	原病死（胃癌 5、大腸癌 2、肝癌 2、膵癌 1）、HCC（術後）

平均入院日数　12.2 日

手術合併症　総数　594　合併症症例 66 例（11.1 %）

食道	0 例	
胃、十二指腸	4 例	・食道空腸吻合部縫合不全　・イレウス　・静脈血栓症 ・誤嚥性肺炎、呼吸不全、イレウス
上部穿孔	1 例	・創感染
小腸	5 例	・腸炎　・偽膜性腸炎　・肺炎、腹腔内膿瘍　・肺炎（2）
肝臓	5 例	・肺炎　・腎不全　・胆汁漏　・腹腔内膿瘍 ・胆汁漏、腹腔内膿瘍、創離開、腹膜炎、多臓器不全
胆嚢	9 例	・不整脈、せん妄　・腹腔内膿瘍　・胆汁漏　・創出血　・腹腔内出血 ・落下結石　・肝機能障害（2）　・膵液漏、創感染
膵	6 例	・肺炎、イレウス、膵液漏　・膵炎、低ナトリウム血症　・胃内容排出遅延 ・胆のう炎　・胆管炎　・原病死
大腸	17 例	・イレウス（4）　・イレウス、腸管壊死　・創離開　・創感染（2） ・縫合不全　・体腔内 SSI（2）　・腹腔内膿瘍　・肺炎　・胃内容排出遅延 ・脳梗塞　・出血性胃潰瘍　・乳び腹水
下部穿孔	8 例	・創感染　・創感染、腎不全　・創感染、心不全　・創感染、腹腔内膿瘍 ・創感染、イレウス、動脈閉塞症　・腹腔内膿瘍、小腸穿孔、PICC カテ感染 ・食道潰瘍出血、深部静脈血栓症、真菌性肺血症　・せん妄
appe 穿孔-	0 例	
appe 穿孔+	3 例	・呼吸不全　・心不全　・盲腸穿孔
乳腺	3 例	・皮弁壊死　・創出血　・肺炎
鼠径ヘルニア	1 例	・排尿障害
ヘモ	0 例	
その他	4 例	・横隔膜ヘルニア術後肺炎、不整脈　・閉鎖孔ヘルニア術後偽膜性腸炎 ・アルテマイヤー法術後骨盤腔膿瘍　・腹腔内脂肪肉腫術後膵液漏

手術関連死亡	4 例(0.67%)	良性	結腸憩室穿孔術後	72 歳	男性	（術後 49 日）
		悪性	肝癌術後	78 歳	男性	（術後 107 日）
			胃癌癌性イレウス術後	85 歳	女性	（術後 51 日）
			膵癌バイパス手術後	73 歳	男性	（術後 2 日）

再手術症例	5例(0.84%)	・胃癌術後	→ 癌性イレウス小腸部分切除
		・乳房切除術後	→ 皮弁壊死切除
		・HCC肝部分切除術後	→ 腹壁離開閉鎖
		・上行結腸憩室出血術後	→ 小腸穿孔切除
		・直腸癌切除術後	→ 吻合部壊死切除+ストマ造設
再入院患者数	13例(2.2%)	・尿膜管膿瘍術後	→ 臍部皮下腫瘍手術
		・LC後	→ 腹壁瘢痕ヘルニア手術
		・単径ヘルニアダイレクトクーゲル法	→ 単径ヘルニア再発プラグ法
		・単径ヘルニアダイレクトクーゲル法	→ 単径ヘルニアTAPP
		・胃全摘術後	→ 食道空腸吻合部狭窄
		・直腸癌再発ストマ造設術後	→ 癌性イレウス
		・直腸癌術後	→ イレウス
		・下部胆管癌術後	→ イレウス
		・胃全摘術後	→ 癌性食道空腸吻合部狭窄
		・下行結腸癌術後	→ イレウス
		・胃癌術後	→ 食欲不振
		・イレウス術後	→ イレウス、NOMI疑い
		・結腸憩室炎術後	→ 後腹膜膿瘍

8. 整形外科

大腿骨頸部骨折・大腿骨転子部骨折　平成30年　地域連携パスの実績

① 総患者数　184名　　〔平成29年　136名〕

② 治療方法　手術療法　183名、転院　1名

③ 地域連携パス利用率（人数）　62.0%、　114名

〔平成29年　70.5%、96名〕

④ 当院での在院日数

ⅰ）全体　30.0日　（死亡2名を除く）

〔平成29年　25.2日〕

ⅱ）地域連携パス利用者　26.2日　〔平成29年　22.7日〕

ⅲ）地域連携パス除外者　32.4日　（死亡2名を除く）

〔平成29年　31.7日〕

⑤ 手術から転院・退院までの日数

ⅰ）全体　26.4日　〔平成29年　22.2日〕

ⅱ）地域連携パス利用者　22.8日　〔平成29年　19.8日〕

ⅲ）地域連携パス除外者　32.4日　〔平成29年　28.7日〕

⑥総治療日数　（地域連携パスを利用し、当院から回復期リハビリ病院を経て在宅復帰が達成できるまでの期間）

85.3日　〔平成29年　68.5日〕

9. 産婦人科

分娩数　100　うち　経腟分娩　67　帝王切開術　33　（帝王切開率33%）

婦人科良性疾患に対する手術　55

婦人科小手術　8

婦人科悪性疾患に対する手術　0

産科小手術　11

分娩数に大きな変動はない。婦人科手術はやや減少。

悪性腫瘍は原則として婦人科腫瘍に対する専門治療が可能な医療機関に紹介している。

産科においては助産師が熱意をもって周産期管理をおこなっており、婦人科診療とともに限られた環境の中で最大限、市立病院としてしての役割を果たしていきたい。

10. 泌尿器科

- 周術期死亡　なし
- 再手術症例　なし
- 手術創感染　なし
- 前立腺生検後菌血症　1例
- TUR後再入院　1例(後出血)
- 前立腺生検　74件　うち癌検出44件

11. 脳神経外科

破裂脳動脈瘤部位別指標

部位	H&K	WFNS	mRS	治療法
ICA	5	5	5	clipping
ICA	1	1	1	clipping
ICA	1	1	1	clipping
ICA	4	4	3	clipping
ICA	3	4	2	clipping
ICA	3	3	5	clipping
ICA	2	1	2	clipping
ICA	4	4	5	clipping
Acom	4	5	3	clipping
Acom	2	2	2	clipping
Acom	4	5	5	clipping
VA	5	5	5	coiling

破裂動脈瘤治療最終midified Rankin Scale(good recovery) ：41%

急性期脳梗塞t-PA　および 機械的血栓回収療法指標

	年齢	病名1	病名2	DWI-ASPECTS	O2D	D2N	D2P	D2R	P2R	TICI	NIHSS前	NIHSS t-PA後	NIHSS カテ後	mRS 1週間後	ICH
iv t-PA	83	rt IC top occlusion		4	59	114					16	16		6	(-)
	73	rt internal capsule infarction	small vessel disease	10	20	54					9	0		1	(-)
	90	rt IC occlusion	af	10	35	70					15	15		5	(-)
	75	rt IC occlusion	af	10	42	54					17	4		2	(-)
	94	rt M1occlusion	af	7	67	117					18	10		3	(-)
	72	rt MCA distal infarction	af	8	151	58					10	1		2	(-)
	86	lt M2occlusion		9	0	60					24	3		2	(-)
	86	lt M3occlusion	Paf	9	80	130					12	13		4	(+)
	94	lt M1occlusion	af	4	142	58					24	24		5	(-)
	83	rt M2occlusion		8	60	48					7	4		0	(-)
	83	rt M1occlusion	Paf	7	190	75					19	16		4	(-)
	61	lt P1occlusion		11	96	139					4	1		2	(-)
	80	rt M2occlusion	af	9	115	73					4	2		2	(-)
	83	lt M1occlusion	af	7	105	59					23	13		4	(-)
	73	BAD (rt internal capsule)	small vessel disease	9	66	62					12	12		4	(-)
	82	rt frontal subcortical infarction	ATBI	9	84	76					4	2		2	(-)
	91	rt M1occlusion	af	8	169	66					11	11		5	(-)
IVR	74	BA occlusion	af	-	418	(-)	182	(-)	63	3	28	(-)	25	5	(-)
	85	rt M1occlusion	af	7	128	(-)	108	(-)	111	2b	13	(-)	13	4	(-)
	72	lt M1occlusion	af	5	64	59	170	404	234	2a	16	16	16	5	(+)
	70	lt M1occlusion	af	7	48	52	97	187	90	3	13	13	13	5	(+)
	88	lt IC occlusion	af	5	141	38	56	114	103	3	18	18	16	5	(-)
	73	lt IC stenosis	ATBI	9	75	90	129	238	89	3	8	8	6	2	(-)
	63	lt IC occlusion		6	254	57	131	196	65	2b	9	(-)	8	2	(-)
	78	rt M1occlusion	Paf	8	118	50	81	248	167	2b	12	12	14	4	(+)
	81	BA occlusion	af	-	92	36	93	124	31	3	20	19	1	1	(-)
	94	rt M1 occlusion	PVC	8	35	33	98	147	49	2a	21	10	7	2	(-)
	79	rt M2 occlusion	Af	9	30	75	105	189	84	2b	10	10	7	2	(-)
	87	rt M1 occlusion	Af	7	1245	(-)	71	198	127	3	12	(-)	10	5	(-)
	80	rt M1 occlusion	Sinus	7	0	(-)	260	(-)	61	0	20	20	20	6	(-)

tPA単独最終mRS(0～2) good recovery: 47%
機械的血栓回収率TICI:2B以上：77%
機械的血栓回

O2D : onset to door(min.)
D2N : door to needle(min.)
DTP : door to picture(min.)
D2P : door to puncture(min.)
D2R : door to recanalization(min.)
P2R : puncture to recanalization(min.)